

**製品名:** リン酸化グルタミン酸受容体 1 (AMPA サブタイプ) (Ser845) ウサギポリクローナル抗体  
**カタログ番号:** APRab00702

研究使用のみ

## 概要

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ   |
| 応用     | WB  |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | リン酸化  |
| アイソタイプ | IgG   |
| クローン性  | ポリクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。                 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび 50%グリセロール。 |
| 精製     | アフィニティークロマトグラフィー  |

## 応用

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000                              |
| 分子量  | Calculated MW: 102 kDa; Observed MW: 102 kDa |

## 抗原情報

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | GRIA1   |
| 別名           | GRIA1; GLUH1; GLUR1; Glutamate receptor 1; GluR-1; AMPA-selective glutamate receptor 1; GluR-A; GluR-K1; Glutamate receptor ionotropic; AMPA 1; GluA1 |
| 遺伝子 ID       | 2890  |
| SwissProt ID | P42261  |
| 免疫原          | 標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド   |

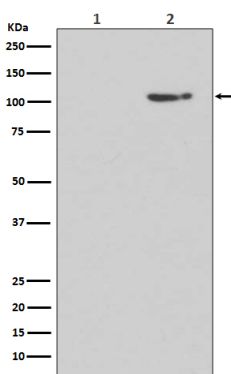
## 背景

AMPA 受容体 ( $\alpha$ -アミノ-3-ヒドロキシ-5-メチル-4-イソキサゾールプロピオン酸受容体)、カイニン酸受容体、および NMDA 受容体 (N-メチル-D-アスパラギン酸受容体) は、イオンチャネル型グルタミン酸依存性イオンチャネルの3つの主要なファミリーです。AMPA 受容体 (AMPA) は4つのサブユニット (GluR 1~4) から構成され、ホモまたはヘテロ四量体として集合することで、中枢神経系における高速興奮性伝達の大部分を媒介します。AMPA はシナプス形成、安定化、および可塑性に関与しています。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



(1) ラムダホスファターゼ溶解物で処理したヒト脳溶解物、(2) リン酸化グルタミン酸受容体 1 (AMPA サブタイプ) (Ser845) 抗体を使用したヒト脳溶解物におけるリン酸化 GluR1 (S845) のウエスタンブロット分析。